

# 学力向上に効果のある取組事例

豊後大野市立犬飼小学校

## ②思考力、判断力、表現力等の育成

### 取組の具体①【ペア・グループ活動を取り入れた伝え合う力の育成】

- 伝える力をつけるために「ペア学習の進め方」「話し方名人」「聞き方名人」の共通理解をし、授業改善を行っている。
  - ・考えの交流時「ペア学習の進め方」を活用して伝え合うと、比較して質問をしたり、わかりやすかったところを伝えたりすることができるようになってきている。
  - ・調べたことを発表し、表現する場を確保している。
  - ・考えの伝え合いができるよう、個人の考えをもつ段階で個別に「ヒントカード」を配布するなどの工夫をしている。
  - ・低学年には「ペア学習の進め方(マニュアル)」をペアごとに配布し、活用させながらペア学習させている。
- 「めあて」や「課題」「まとめ」「振り返り」を板書に位置付け、板書の構造化に取り組む。
  - ・ゴールに向かって次のめあてを考えることがある。
  - ・授業に応じて「まとめ」を自分の言葉で作ることをしている。
  - ・「振り返り」の場面では、学年の発達段階等に応じて、必ず視点を与えて書かせたり言わせたりする。

#### ペア学習の進め方 4・5・6年

##### ①互いに考えを伝えあう。

A ぼくは ～ と考えました。(思いました。)

○○さんは どんな考えですか？

B 私は ～ と考えました。

A ここまでは分かったのですが、ここからどうして○○の○○です。

B ここを ～ してしたら どうですか？

##### ②わかりやすかったところを伝えあう。

・ぼくは、○○さんの△△の考え方が**わかりやす**と思いました。

・私は、△△の考え方もできるんだということに初めて**気が付きました**。

##### ③質問する。

・ここまでではわかったのですが、○○が**よくわからないので、もう一度教えてください**。

・なぜ、○○と考えたんですか？(○○はできないですか？)

##### ④よい方法を見つける。

～2人の考えをまとめてみよう！～

・ぼくの○○の考え方と A さんの△△の考え方を併せると、

**もっと簡単に**考えられるね。

・私たちの考え方は **似ている**ね。

・どんな説明の仕方が **もっとわかりやすく**なるのかな？

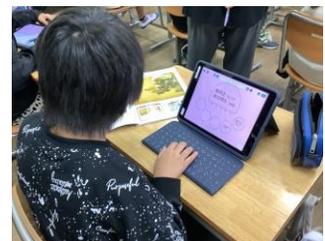
・ぼくたちの考え方は **少し違って**いるね。

でも、答えは一緒だ、**どちらの方法がわかりやすいかな？**

### 取組の具体②【GIGAスクール構想におけるICTの有効活用】

- 振り返りの時間を確保する。GONちゃんを活用しての振り返りを意識し、全員の振り返りが共有できる場を作る。
  - ・タブレットの授業の時、GONちゃんの振り返りができている。
  - ・操作に手間取る子どもがいるので、使い方の交流を学年会議で行っている。
- GONちゃんの効果的な活用について、教師間で情報交換していく。
  - ・ロイロノートの中にあるシンキングツールを活用して考えをペアで交流したり、考えを大型モニターに映し全体へ説明したりすることができる。
  - ・学年・専門部会議等の中で、授業での活用方法の検討を行うことができる。
  - ・授業の中で「『板書』で表すこと」と「『画面(モニター)』で表すこと」の区別について、校内研の中で協議・検討し整理することができた。
- 定期的にICT支援員を招聘して教職員のICT研修を行い、スキルアップに努めている。

シンキングツールを活用して考える



考えたことを大型モニターを使って全体へ説明

